



◆10月のCP市場動向

10月末のCP市場残高は24兆2,945億円で前月比3兆29億円増加した。前年同月比では3,798億円の増加となった。発行市場では、9月末で残高調整を行った事業法人の発行再開に加え、良好なCP発行環境の継続や、その他金融業の発行の膨らみ等の要因が見られたことから、市場残高が増加した。業種別残高では、その他金融が11兆1,003億円（前月比+1兆2,593億円）、一般事業法人が9兆3,810億円（同+1兆9,577億円）とそれぞれ増加した。一方、金融機関は2兆1,431億円（前月比△1,040億円）、ABCPは1兆6,701億円（同△1,101億円）と減少した。発行レートは、幅広いレンジでの出会い。大型の発行を行った銘柄では0%近辺の出会いも見られたが、コロナオペの残高は増加傾向にあり、担保目的等のCP引受需要は依然として高いことから、マイナス圏内での出会いが中心となった。

【新発3M物の発行レート】

最上位銘柄（A-1+格） 0.000%割れ 一般事業法人（A-1格） 0.000%割れ
 その他金融銘柄（A-1格） 0.000%割れ

【業態別残高内訳】

（単位：億円）

業 態	10月末残高	9月末残高	増 減
一般事業法人	93,810	74,233	+19,577
その他金融	111,003	98,410	+12,593
金融機関	21,431	22,471	-1,040
政府系金融	0	0	0
銀行等	2,729	2,739	-10
証 券	18,702	19,732	-1,030
ABCP	16,701	17,802	-1,101
計	242,945	212,916	+30,029

（注：買入消却分含む）

【格付け別の発行レート】

格 付	1ヵ月		2ヵ月		3ヵ月	
a-1+（一般事業法人）	-0.008%	～ ———	-0.079%	～ 0.000%	-0.066%	～ 0.000%
a-1（一般事業法人）	-0.070%	～ 0.000%	-0.078%	～ 0.009%	-0.080%	～ 0.010%
a-1+（リース銘柄）	———	～ ———	-0.015%	～ -0.018%	-0.024%	～ -0.019%
a-1（リース銘柄）	———	～ 0.018%	-0.008%	～ 0.007%	-0.036%	～ 0.010%
a-2	0.001%	～ 0.165%	0.009%	～ 0.045%	-0.025%	～ 0.230%

「C P オペ」

C P等買入れオペは、当初予定通り2回の合計1兆円で実施された。13日オファー分の結果は、応札額9,242億円、按分レートは△0.015%、26日オファー分は、応札額7,257億円、按分レート△0.015%と横ばいのレートで推移した。応札倍率は26日オファー分で1.46倍と前回比（1.85倍）低下しており、ディーラーの買入れオペへの応札ニーズがやや限定された結果となった。

〈月末オペ残高：3兆2,713億円〉

【日銀C P等買入れオペ実績】

（単位：億円）

実施日	実行日	オファー金額	応札額	落札額	按分・全取	平均落札	按分比率
10月13日	10月18日	5,000	9,242	4,990	-0.015%	-0.010%	63.7%
10月26日	10月29日	5,000	7,257	4,969	-0.015%	-0.012%	55.9%

「A B C P」

A B C Pは、1兆6,701億円と前月比1,101億円の減少、前年同月比では717億円の増加であった。

「短期社債登録状況」

証券保管振替機構によると、10月末時点における発行登録企業数は2社増で、543社であった。

新規登録：マネックスファイナンス、日通リース&ファイナンス

「C P 現先市場」

現先（S/N）レートは運用ニーズ変わらず、マイナス～0%近辺での出会いとなっていた。

◆11月のC P市場動向

11月のC P発行市場は、年末に向けた賞与資金や納税対応等により発行増加が見込まれる。また、良好なC P発行環境の継続等の影響から、現状のC P市場残高は高水準を維持しており、月末発行残高は前月末を上回る水準での推移を予想する。発行レートは、コロナオペ担保需要等から、期越銘柄や希少銘柄等に対しては引き続きマイナス圏での出会いが中心となる一方、発行頻度の多い銘柄等では0%近辺での出会いが予想される。

「C P オペ」

C P等買入れオペは、11日と25日でそれぞれ5,000億円のオファー予定となっている。C P市場残高は高水準で推移していることから、引き続きディーラーの売却ニーズもあり、按分レートは前回比横ばい圏内を予想する。

「C P 現先市場」

C P現先レートは、0%近辺での出会いを予想する。

* 参考資料 (出所：証券保管振替機構)

【10月末発行残高 上位10社】

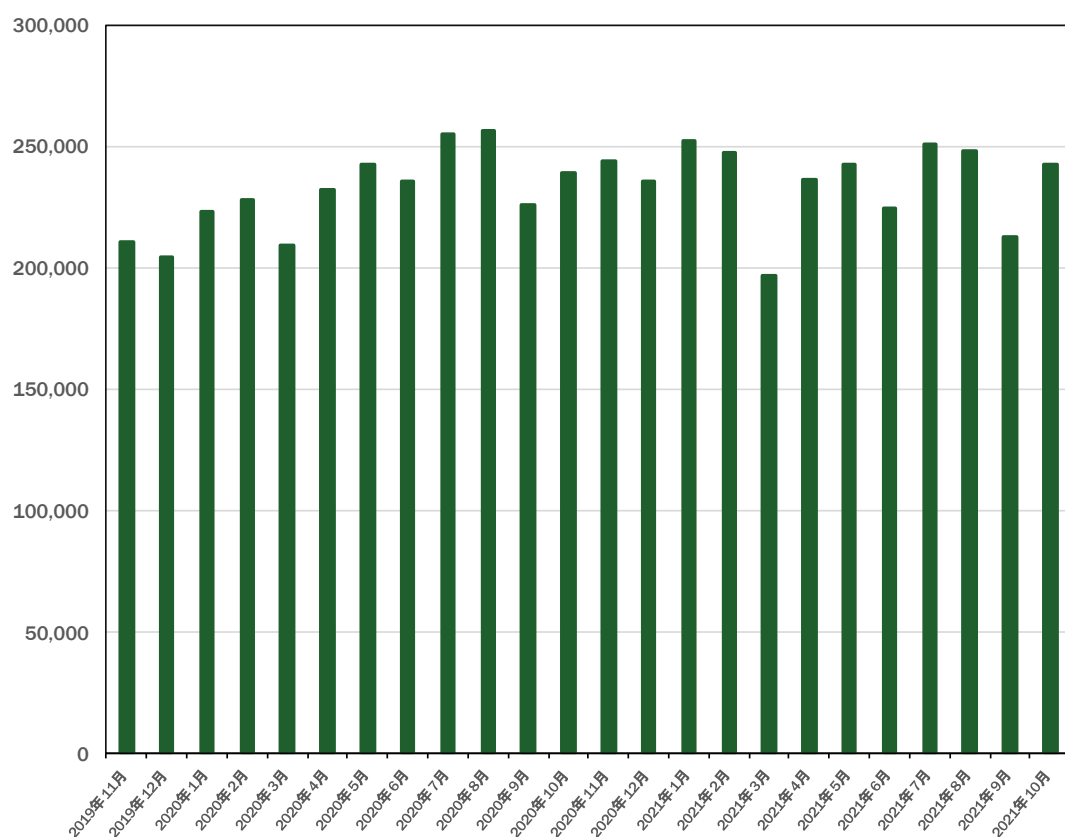
(単位：億円)

	発 行 企 業 名	10月末残高	9月末残高
1	NTTファイナンス株式会社	16,360	8,800
2	三井住友ファイナンス&リース株式会社	9,538	9,538
3	NTT・TCリース株式会社	7,900	7,900
4	コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション	7,707	7,512
5	みずほリース株式会社	6,040	5,730
6	三菱HCキャピタル株式会社	5,955	5,442
7	株式会社クレディセゾン	5,210	4,910
8	日本証券金融株式会社	4,924	4,910
9	みずほ証券株式会社	4,905	4,905
10	関西電力株式会社	4,900	5,100

【短期社債市場残高】

(2019年11月～2021年10月)

(単位：億円)



本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。

有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。

記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 243 号

東京本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 2 番 3 号 TEL : 03-3270-1711（代表）

大阪本社 〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号 TEL : 06-6202-5551（代表）

加入協会 日本証券業協会